

《映像文化センター所蔵写真から》 情報 求 む



昭和39年 撮影



昭和40年代頃 撮影

今では「市川の梨」が有名ですが、かつては朝摘みの「市川イチゴ」も広く知られていました。この2枚はそれぞれ別の苺畑を写した写真と思われますが、現在、撮影場所を調査中です。昭和41年5月1日号の広報には、「新田、平田、八幡、国分、須和田、菅野町等の約三九、六六九六ヘクタール」で苺栽培が行われていたとあります。写真の風景に見覚えのある方、撮影場所に関する情報をお寄せください。また、苺栽培と当時の暮らし、栽培方法や使用した道具のことなど、市川で苺を栽培されていた方や当時の様子をご存知の方からのお話も募集中です。みなさまからの情報をお待ちしています。

市史編さん事業講座・講演会実施報告

第5回市史自然講座「行徳水鳥保護区—自然と歴史—」

10月27日、普段は入ることの出来ない行徳鳥獣保護区内にて、野外観察による講座を行いました。講座では、保護区の歴史と30年前の子アジサシの繁殖等について、野鳥観察舎友の会の蓮尾純子氏と自然部会の調査編集委員による講義が行われました。



市史民俗講座「地蔵山墓地から歴史を読む

—市川新田の民俗・近世・近現代—

12月18日、平成22年に実施した地蔵山墓地調査の成果報告をかねた墓地見学会と講座を開催しました。見学会では民俗部会の調査編集委員が地蔵山の特徴などを解説しました。講座では、早稲田大学人間科学学術院長・谷川章雄氏による江戸周辺の近世墓制に関する特別講演の後、調査編集委員が墓地調査の概要説明や中間報告を行いました。また、会場の皆様からは、墓地にまつわる貴重なご意見や資料をお寄せいただきました。ありがとうございました。民俗部会では今後も調査を進め、墓地調査の成果を報告書にまとめる

予定です。新田地域の歴史と民俗の解明には、そこで暮らす皆様からお話をうかがうことが欠かせません。

映像文化センターでは、引き続き、地域の皆様からの情報をお待ちしています。

